歌え！ロレッタ 愛のために

COAL MINER'S DAUGHTER

◆'81年度アカデミー賞最優秀主演女優賞受賞 ■シシー・スペイセク■

◆ゴールデン・グローブ賞／ニューヨーク映画批評家協会賞／ロサンゼルス映画批評家協会賞／全米映画批評家協会賞

◆ゴールデン・グローブ賞最優秀作品賞受賞

他各主演女優賞独占受賞！

貧しい坑夫の娘から
栄光のシンガー・ソング・ライターへ！
ロレッタの愛と感動の半生

彼女が望んだものは結婚指輪であった
しかし彼はギターを贈った
それから二人の新しい人生が始まった……

シシー・スペイセク
トミー・リー・ジョーンズ
ビバリー・ダンジェロ
レボン・ヘルム
フィリス・ボーエンズ

監督マイケル・アプテッド ●脚色トム・リックマン ●製作バーナード・シュワルツ
自伝ロレッタ・リン／ジョージ・ベクシー ●撮影ラルフ・D・ボード ●音楽監修オーエン・ブラッドレー
歌シシー・スペイセク／ビバリー ダンジェロ ●〈サントラ盤〉MCAレコード〈カラー作品〉

ユニヴァーサル映画 CIC配給

「私はブッチャー・ホラーの丘にある小屋に、炭坑夫の娘として生まれました。私達は貧しい一家でしたが、愛に満ち溢れていました……」

ここに始まる一人の女性の物語。現代アメリカのポップス界に〝シンガー・ソング・ライターの女王〟として君臨する人気歌手ロレッタ・リン。その輝かしい活躍と栄光の裏に秘められた人生――13才で結婚、18才で4児の母親という、人が一生を賭けて送る人生を、最も多感な時期に全てを経験するハード・ライフ。その中で常に抱いていた夢と希望に情熱を傾け、遂には全米女性シンガー最大の歌手となってゆく辛苦の道。

62年「サクセス」の大ヒットによって、一躍スターとなったロレッタは、さまざまな嫉妬と中傷を受けながら、やがて当時最大のスターで、後に彼女に大きな影響を与えることになる今は亡きパッツィ・クラインとの運命的な出逢いを経て、〝クイーン〟としての座を固めてゆく。彼女の人気の秘密は、その歌に彼女自身が生きた中から生まれた体験的人生がしみ込んでいるからである。人々はその愛の歌に感動し、涙する。パッツィ・クライン亡きあと、今なお〝女王〟として君臨し続ける彼女の偉大さは、ここに集約されると言ってもよいであろう。

◆スタッフ

監督……マイケル・アプテッド
脚色……トム・リックマン
製作……バーナード・シュワルツ
自伝……ロレッタ・リン
〃……ジョージ・ベクシー
撮影……ラルフ・D・ボード
音楽監修……オーエン・ブラッドリー
歌……シシー・スペイセク
〃……ビバリー・ダンジェロ

◆キャスト

ロレッタ・リン……シシー・スペイセク
ドゥーリトル・リン……トミー・リー・ジョーンズ
パッツィ・クライン……ビバリー・ダンジェロ
テッド〈父〉……レボン・ヘルム
クララ〈母〉……フィリス・ボーエンズ

絶賛!! シシー・スペイセク
主演女優賞
独占受賞

■アカデミー賞
■ゴールデングローブ賞
■ニューヨーク映画批評家協会賞
■ロサンゼルス映画批評家協会賞
■全米映画批評家協会賞
■ナショナル・ボード・オブ・レビュー誌賞
■D・W・グリフィス賞

映画はどん底の生活から、結婚・出産・育児そして、夫のプレゼントであるギターを手にしたことから歌手の道を歩み始め、やがて成功するロレッタ・リンの波乱万丈の半生の中に、夫婦愛、孤独、挫折、カムバック、友情など織り込みながら感動的に綴ってゆく。

出演は13才から30代までを演じわけ、この役で見事第53回アカデミー主演女優賞を受賞した「キャリー」のシシー・スペイセクが、吹きかえなしの、本家も驚くほどの歌のうまさで熱演をみせてくれる他、「アイズ」のトミー・リー・ジョーンズ、「ラスト・ワルツ」で紹介されたロック・グループ〝ザ・バンド〟のリーダーであるレボン・ヘルム、「ヘアー」のビバリー・ダンジェロ、ベテラン・フォーク歌手フィリス・ボーエンズなど、ベテラン陣が脇を固めている。

原作はロレッタ・リンとジョージ・ベクシーの共作になる「炭坑夫の娘」で、これを「グレート・スタントマン」のトム・リックマンが脚色し、イギリスのTV界出身で「アガサ／愛の失踪」で一躍注目された鬼才マイケル・アプテッドが監督している。

撮影は「サタデー・ナイト・フィーバー」や「ロッキー」などで定評のあるライフ・D・ボード。

◆ゴールデン・グローブ賞最優秀作品賞受賞◆

歌え！ロレッタ 愛のために

〈カラー作品〉

COAL MINER'S DAUGHTER

ユニヴァーサル映画
CIC配給

6月6〈土〉日よりロードショー！

特別鑑賞券￥1,200
（一般￥1,500・学生￥1,300の処）
絶賛発売中！

有楽町 ニュー東宝シネマ1 (571) 1946

連日	11:30	1:45	4:15	6:45